

2025年4月14日

2025年度 郷土調査委員会事業計画

委員長 田口浩一郎(木曾町中)
副委員長 平原 稔久(開田中)
委員 古田 成美(大桑小)
武居 康太(南木曾小)
滋田 祐希(三岳小)

1 本年度の事業概要

- ◎木曾教育会郷土館の資料の点検とその保存・活用を図る。
- ◎郷土木曾の歴史・文化財について、調査・見学をして研鑽を深めるとともに、会員にも学ぶ機会を提供する。
 - (1) 郷土館・翠山所蔵品の点検および保存・活用
 - (2) 郷土館内外の整理整頓
 - (3) 「山の神」像の管理
 - (4) 第56回郷土見学遠足の企画・運営
 - (5) 文化財他機関との連携と協力
 - (6) その他 教育会受け入れ書籍等の処理(受け入れ簿への記入・翠山への収納・図書室の整理整頓)

2 事業案立案の理由

委員会創設時の趣旨および、その後の経緯から資料の保存維持、郷土調査の研究、地域社会との連携を図り、委員会の活動を推進するため。

3 事業の視点の位置付け

- (1) 所蔵品の点検および保存・活用
 - ・所蔵品の保存、点検を行い、活用方法を検討していく。
- (2) 郷土館内外の清掃・環境整備 (7月28日(月)夏期大学前)
- (3) 「山の神」像の清掃・管理 (//)
- (4) 第56回郷土見学遠足の企画・運営
 - 郷土木曾の歴史・文化を会員が深く知ることができ、教育実践にも役立てられる企画としていく。見学場所は、北部→中部→西部→南部と実施している。参加は、郡内教職員、清音の会の皆さん、地域の皆さんにお伝えしている。木曾に初めて来られた先生方、

郷土の歴史・文化・産業などに興味をもっている先生方には、より参加を呼びかけていきたい。

令和元年度は、西部（開田・三岳地区）で実施。働き方改革の趣旨を踏まえ、夏休み開催、テキストの簡略化を行った。その後3年間は、コロナのため中止した。令和5年度はコロナ対策をした上で南部（南木曾町）で実施。令和6年度は北部（木祖村）の産業を中心に計画し体験的な活動を復活させ、お六ぐし作りを体験した。

今年度は、中部（木曾町福島・日義地区）での実施を考えている。

- ・期 日 令和7年 8月5日（火）
- ・見学場所 木曾中部

（5）地域に関わる研究

「教材に使える文化財・施設の調査」

（6）その他

- 1) 郷土見学遠足の募集については、6月12日に募集の通知を配付し、木曾郡内教職員の皆さんに広く周知し、興味をもって参加してもらえるようにし、募集締め切りを7月4日とする。
- 2) パンフレットの作成については、見学場所に合わせて工夫をしていく。

4 事業日程の概要

- 4月14日（月） 事業計画の計画・立案（委員会①）
- 6月 3日（火） 郷土見学遠足の下見（委員会②）：木曾町方面
- 6月12日（木） 郷土見学遠足の募集発送
- 7月28日（月） 郷土館の清掃・資料整理・「山の神」像の清掃（委員会③）
- 8月 5日（火） 第56回郷土見学遠足（委員会④）：木曾町方面
- 2月24日（火） 教育会受け入れ書籍等の処理（委員会⑤）：教育会館
（受け入れ簿への記入・翠山への収納・図書室の整理整頓）
郷土見学遠足の反省、活動のまとめ